

日時 2月14日(土) 13:00～ 2月15日(日)12:00
場所 延岡市・ホテルメリージュ
参加者 パストガバナー・ガバナー・カバナーエレクト・ガバナーノミニー
ガバナーデジグネート・次期ガバナー補佐・次期部門長・関係役員
人数 120名 参加費:¥5,000

野中ガバナーエレクトが、1月開催の国際協議会から帰国されて、次期地区役員に始めての帰国報告と所信表明と次期部門会議が主なこととなりました。

ラビンドラン次期RI会長の挨拶要旨

私たちの人生は、いつか終りが訪れます。しかも、終りは思ったよりも早く来るものです。この限られた人生をどのように過ごしたらよいのでしょうか。世界が良い場所となるよう、人のためになにかしますか。それとも。インドの著名な詩人、ラビンドラナート・タゴルの言葉のように、「楽器の弦の張替えばかりして、肝心の歌を歌わずに」毎日を過ごしますか。

結局のところ、私たちの人生の価値は、どれほど得たかではなく、どれほど与えたかによって判断されるのです。

2015～16年度のテーマは「世界へのプレゼントになろう」です。

地位や身の上にかかわらず、才能、知識、能力、努力、そして献身と熱意など、誰でも与えることの出来る何かを持っているはずで。私たちはロータリーを通じて、これらを世界にプレゼントすることで、誰かの人生に、そして世界に、真の変化を起こすことができるはずで。

「人は手を閉じて生まれ、手を開いて世を去る」、また「己の才能は、天から授かったもの」と言われます。ですから私たちは、その授かりものをお返しするのです。～～

それを受けて野中ガバナーエレクトは

誰かの人生に、そして世界に真の変化を起こすことのできる「プレゼント」を！

「プレゼント」とは「授かりものに対するお返し」です。

そして「地区モットー(サブテーマ)」を「奉仕は力、活かそう例会」と設定されました。

具体的活動の中身は、3月・PETS(会長エレクト研修セミナー)と5月の「地区協議会」で重ねての研修会で講演されます。

第3ゾーン・コーディネータ安満PGのお話では、会員が激減しているクラブの活性化として、衛星クラブを提唱されました。5人でも10人でも月1回の例会でも良く、「ロータリーフアン集い」のようなものをイメージいたしました。

そして、親クラブの会員数に入れるというものです。それほど、そんなにしてまで、という思いもありますが、それほど日本のロータリーは危機感を持っているということでしょうか。

諮問委員会では、会員増には、我がEクラブの貢献が大きく寄与しているとの発言が続きました。

会員増は永遠のテーマでありますし、地区予算を左右する大きな問題でもあります。

地区財務委員長の予算案の発表では、繰越金が枯渇して、地区事務所維持のためには、人頭分担金の値上げがどうしても、必要で一人当たり¥1000の承認を頂きたいという悲痛な思いの懇請があり、了承されました。しかし、予算案はPETSでの承認事項ですから、桐明会長エレクト参加の中で、十分な審議がされると思います。

我がクラブからは、戸高さんが地区・広報・公共イメージ部門の「ロータリー雑誌委員会」委員として、参加いただきました。多くの気づきがあったことと思います。